

平成 29 年度第 2 回下野市生涯学習推進協議会 議事録（要旨）

1 日 時 平成 29 年 8 月 3 日（木）9 時 30 分～11 時 10 分

2 場 所 庁舎 3 階教育委員会室

3 出席委員
 会長 島田 実
 副会長 小島 和吉
 委員 白石 恵子（代理：鈴木一恵）
 小貫 シゲ子
 武子 保
 井上 永子
 梁島 耕治
 田村 秀子
 鈴井 祐孝

4 出席職員
 教育長 池澤 勤
 生涯学習文化課長 近藤 善昭
 生涯学習推進グループ 大門 啓美
 塩濱 弘子
 漆原 聡

5 議 案

- (1) 学校支援ボランティアについて
- (2) 平成 30 年度実施計画に対する提案について
- (3) 生涯学習推進計画の推進体制を市民に周知徹底するための方策について

会長	あいさつ
教育長	あいさつ
会長	議題（1）学校支援ボランティアについて、資料 1 から資料 5 について説明を求める。
事務局	資料 1 ～ 5 に基づき説明
会長	資料 5 のチラシは、吉田東小学校が独自につくったものか。
事務局	はい。
会長	資料 1 から 5 まで説明があったが、鈴木先生はどのようなボランティアが必要と考えているか。
委員	薬師寺小学校でも吉田東小学校同様、地域の中の学校ということで今年は特に力を入れボランティアの呼びかけをしている。今までは保護者を対象にしていたが、今年は 60 代・70 代の学校にお孫さんかきていない方も対象に広くボランティアの募集をした。広く呼びかけはしたが、反応はいまひとつであった。例えばどんなボランティアを必要としているかという、一番は交通安全ボランティアである。薬師寺小学校には組織はあるが、高齢化が進んでおり課題となっている。低学年では、昔の

<p>会長 委員 会長</p>	<p>遊びのボランティアがある。古山小学校では老人会が協力してくださり助かっていた。中学年では、かんぴょうづくりを校内の花壇でやっているの、畑を貸していただける方。または、ふるさと学習を歴史館の協力で行っているが、子どもの課題のニーズに応えてくださるボランティアティーチャーのような人材がいたらいいと思う。その他、新1年生が入学した次の日から給食となるが、その配膳を保護者をお願いしたところ、卒業した児童の保護者にも来ていただけた。学習ボランティアとしては、ミシンや調理実習やまち探検では欠かせない。本年度、本校では学校支援ボランティアを組織化していこうと考えている。校内コーディネーターが2人おり、学校支援ボランティアには21名登録している。校内コーディネーターが相談できる地域コーディネーターは必要と考える。</p>
<p>委員</p>	<p>校内コーディネーターは教職員なのか。 保護者である。校内窓口は、教務主任と地域連携教員である。 現状をお話いただいた。先ほど呼びかけをしたということであったが、どのように呼びかけをしたのか。</p>
<p>委員</p>	<p>保護者に配付した。自治会長にお願いしようかとも考えたが、保護者に地域の方に声をかけていただくように依頼した。残念ながら集まらなかった。</p>
<p>委員</p>	<p>生涯学習情報センターの学校支援ボランティアには240名の登録がある。この名簿が地区別や分類別に整理されていない。これをやるべきである。学校支援ボランティアの窓口は生涯学習情報センターだ。薬師寺小学校の近辺にどのような方がどのようなことができるのかがわかる。小学校区、中学校区の地図を事務局に渡した。地区ごとに何人のコーディネーターが必要なのか考えなくてはならない。学校には地域連携教員の先生がいる。その協議体をつくっていかなくてはならないと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年度かんぴょうの取組で来ていただいたボランティアは、生涯学習情報センターに相談し、紹介していただいた。</p>
<p>委員</p>	<p>コーディネーター養成や、学校支援ボランティアの養成は必要であるが、学校・地域によって違ってくる。中学校区、小学校区のマップを事務局に渡した。これを活用していただきたい。先ほど事務局から説明があったが、学校支援は子どもたちのためだけではない。大人の地域・まちづくりにもなる。</p>
<p>委員</p>	<p>生涯学習情報センターは活用していた。合唱の指導やお琴の指導などでお世話になっている。管理職になると職員がこの存在を知らなく、活用していないことがわかった。学校現場にもっと浸透させ、地域連携教員がもっと生涯学習情報センターを活用していかなくてはならないと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局で作った生涯学習推進体制のチラシと同じように、またわかりやすく作って学校に配付すればよい。</p>
<p>会長</p>	<p>吉田東小学校のボランティア募集のチラシは、どのように配付しているかわかるか。</p>

委員	「学校見学会」とあるので、おそらく保護者だけでなく自治会に広く周知していると思う。
会長	<p>こういうチラシを配布すると、生涯学習を広く知らしめることにつながる。学校単位でこのようなチラシを作成するようになると思うが、作成を支援していただきたい。</p> <p>いろいろ活動しているが、人がまだまだ足りないという話であった。生涯学習情報センターに登録している学校支援ボランティアを含め、いかに地域にまんべんなく広めるかが課題である。</p>
委員	実績報告されている学校支援ボランティアは毎年継続しているものなのか。また、地域への呼びかけ、自治会長とコミュニケーションをとることによって、より多くの人材を集めることができるのではないか。もう一つ、空き教室の利用、地域への開放は考えていないのか。
委員	薬師寺小学校においては、空き教室はない。学習においても個別学習を充実させているので常時空いている教室はない。
委員	空き教室がある学校は、利用すれば地域との関わりがたくさん持てるのではないかと思う。
委員	本校でもそれは考えており、1階の低学年の学習室になっている教室をボランティアさんが集まれる場所として併用するようにした。気軽に集まれるようになった。
委員	自治会長がこのような問題に対してどのような考えを持っているのかということも重要になる。
委員	最初はこのようなチラシを持っていき、自治会に配付をお願いするところから始めればいいのか。最初から何から何までお願いするのは無理である。
委員	学校支援ボランティアという制度を知っている市民は少ないと思う。まずは、周知をして知ってもらうことが大切なのではないかと思う。
委員	まずは存在を知らせることが、第1である。
委員	生涯学習としては、周知活動はしていると思う。
委員	興味を持って、知ろうとしている人はわかるが、そういう人ばかりではない。意識をあげていくことも、生涯学習推進協議会委員の役目だと思っている。
会長	<p>これに関しては、永遠のテーマだと思う。今回の議題にもあがっている。</p> <p>今回、薬師寺小学校の話聞いたが、地区によっても雰囲気・特徴が違ってくる。学校支援ボランティアを一括で募集するのがいいのか、地区ごとがいいのか。</p>
委員	石橋地区は、学校と自治会の間にPTAが入り、配付できていた。自治会に配付したいものは、1日と15日が配布日なので、間に合うようにPTAに渡すと配付できた。薬師寺小学校にはそのようなシステムがないので困っている。
教育長	鈴井委員が作成してくれた地図を見ているが、国分寺小学校には学校

会長	<p>支援本部があり、PTAやPTAのOBが中心になり組織ができている。国分寺東小学校は学校運営協議会ができあがっており、学校運営協議会だよりを毎月発行して地域に配付している。この地図の青い部分は組織化されている。薬師寺小学校は範囲が非常に広い。この部分がふるさと学習で薬師寺歴史館のボランティアがベニバナづくりやエゴマづくり、古代米での餅つきなど地域が結束してくれ、子どもたちにつないでくれている。吉田西小学校には蔵王の森というものがあり、絶滅危惧種のトウサワトラノオの保存と、蔵王祭という子どもたちが育てた野菜とお米を食する学校祭があり、自治会ごとに活動している。吉田東小学校は、本日用意した資料のとおりであるが、運動会は自治会ごとにブースができしており、学校支援ボランティアが入ってきていただいている。難しい地区は、地図上でみると南河内第二中学校区である。都市核で地域とともにある学校づくりとなると組織化が難しく思える。</p>
教育長	<p>下野市内は結構組織化されている。教育委員会として、組織化をお手伝いすることは考えているのか。</p> <p>小中一貫教育の中で、学校評議員制度に代わり学校運営協議会を導入していくことは決まっている。また、学校支援ボランティアとしてみなさまのお力をお借りしたいと考えている。南河内中学校区では義務教育学校にすることが決まっているので、学校運営協議会と学校支援本部はセットで考えていかなくてはできない。現在、各小中学校では、夏休み中に「いきいき学び塾」を行い、夏休みの宿題を全て終わらせて9月から学校に行けるように支援している。ここにも学校の先生だけでなく、学習ボランティアとしてご協力いただきたいと考えている。これからの小中一貫教育実践の中で、なくてはならない組織と考えている。</p>
会長 教育長	<p>自治会との連携ができていない部分も踏み込んで考えるべきか。</p> <p>地域ごとに学校ならではの連携と組織化を考えている。自治会長と話す機会はたくさんある。時間はかかるが、直接会ってお願いしていきべきだと思う。下野市は地に着いた動きで根付かせていきたいと考えている。</p>
委員	<p>それが、地域の創生である。特色ある下野市をつくるということであると思う。</p>
委員	<p>薬師寺小学校では、仁良川地区の児童が非常に増えている。330人中160名がここから通っている。仁良川の自治会長が、新しく入ってきた方が多いのでコミュニティをつくりたいと相談にこられた。催し物を開催するときも全面的に協力するというので、チラシを配付した。学校周辺は昔ながら地区なので地域のつながりがあるが、仁良川地区をどうまとめていくかが課題である。</p>
委員	<p>薬師寺小学校というと寺子屋である。知り合いもいるので、輪を広げていく方法はある。</p>
会長	<p>学校支援ボランティアを生涯学習の視点からみてどのような提案をしたらよいのか見えてきた。まず、学校支援ボランティアというものがあ</p>

委員	<p>るということを、市民に知らしめなくてはならない。195 事業の中で周知していくということや、交通安全の面なら安心安全課の事業の中に少し取り入れてもらうとか、子どもの要望に全て応えられる人材がないということなら、生涯学習情報センターの活動を広く周知するなど、全庁的に各課に伝えていただき、30 年度の実施計画に取り入れていただきたい。</p>
会長	<p>南河内中学校区は義務教育学校となるので、4つの学校の伝統的な地域行事をどのように一つにまとめていくか悩んでいる。子どもたちにつないでいくには地域の方の力が必要である。</p>
委員	<p>地域の文化をつないでいくには、195 の事業の中でも取り入れられるのではないか。</p>
会長	<p>いろんな講座の中で、今の子育ては、昔と全然違うので学校支援ボランティアの心構えをいれてみてはどうか。元気な高齢者はたくさんいる。たくさんの意見がでたので、事務局で提案としてまとめていただきたい。</p>
委員	<p>議題（2）平成30年度実施計画に対する提案についてに入る。重点的に取り組むものとして提案はあるか。</p>
会長	<p>実績報告があるが、これを評価してもいいのではないか。評価結果は公表するので、生涯学習のPRにもなる。</p>
教育長	<p>目標値を定めて評価はするべきだとは思いますが、成果と改善点とはある。現在、公民館振興計画を策定中である。社会教育委員会議で審議中であるが、素案の中に評価についてあるので、こちらで検討していきたいと考えている。貴重なご提案を承ったので、島田会長に社会教育委員会議で生涯学習推進協議会からも提案があったことを伝えていただくということによろしいか。</p>
会長	<p>伝える。ほかにないか。 30年度の提案としては、学校支援ボランティアの要望を主にしていくということによろしいか。</p>
委員	<p>学校支援ボランティアが、先生に楽をさせるためのもの、子どもたちを甘やかすものになってはいけないと思う。</p>
会長	<p>昔は地域で子どもたちを育てた。今は地域で学校を支援することが薄れてきている。全部を学校に任せるのではなく、学校支援ボランティアとして、地域で子どもたちを育てていきたいと考える。</p>
委員	<p>教員の負担軽減のためのものであってはいけないし、子どもをわがままにするものであってはならないと思う。なぜ学校では学校支援ボランティアを必要としているのかは、いくつかある。生活面、安全面、学習面。学習面で言うと、今の学習は課題解決学習である。子どもがそれぞれ課題を見つけ、それにむかって探究していくという学習である。そうすると子どもの課題解決のために誰に出会わせたいかという時に、寄り添ってくれる人は教員だけでは賄えない。自分の課題解決をしていきながら、地域の中の自分、あるいは地域を変えてしまうぐらいの意見を出す子も</p>

委員	<p>いる。そういう活動に寄り添ってもらうためには、学校支援ボランティアという組織が必要である。</p> <p>そうすると、絶対、地域コーディネーターが必要である。下野市には何人必要と考えているか。</p>
委員	<p>コーディネーターは各校1人必要と考える。その下に何人かは必要となるが、小規模校ほど保護者が少ないので、学校支援ボランティアは必要である。</p>
会長	<p>今日は、学校の実態がよく理解できた。</p> <p>議題（3）生涯学習推進計画の推進体制を市民に周知徹底するための方策についてということで、事務局でチラシの案を作成したが、何か意見があるか。</p> <p>〈意見なし〉</p> <p>今回は3月になるが、その時にも議題にあげたいと思う。</p>
委員	<p>スポーツ推進員の代表できているが、毎月第1火曜日にスポーツ推進員の会議がある。その時にボランティアの要請が3、4校ある。ニュースポーツを含めスポーツの指導はボランティアでいくので、活用していただきたい。</p>
委員	<p>市政10周年を迎え下野市の歌ができた。学校では歌われており、子どもたちは覚えているが、一般市民は覚えていない人のほうが多いと思う。こういう会議の始まりや終わりに流したり、庁舎でもお昼休みに1回くらい流したりして、市民として覚える、親しむのもよいのではないかと思う。できれば生涯学習の部分でできたらよいのではないか。</p>
教育長	<p>貴重な意見である。公民館でもそのような意見をいただき、市歌を流しているが、再度確認する。</p>
事務局	<p>今後、本日いただいた意見を各課に平成30年度実施計画に反映させるよう依頼し、作成していく。最終的には本部会にて決定し、次回の協議会は平成30年3月となるがそこで説明する。</p> <p>以上で閉会とする。</p>